



日本社会を生きるとは -ことばとオートノミーと社会的行為主体-

多言語多文化状況にある日本社会では、多様なバックグラウンドを持つ人々が主体的な生を生きています。この生を可能にするのがことばであり、そのことばの獲得の原動力となるのがオートノミーです。本シンポジウムでは、主体性における課題をことばやオートノミー、社会的行為主体という観点から考え、言語教育に携わる人々に何ができるのかを議論します。

2019年 **3月15日(金)**

同志社大学 今出川キャンパス 良心館3階 RY305

12:00 - 12:30 受付

12:30 開会挨拶

新 茂之 氏 (同志社大学 日本語・日本文化教育センター 所長)



12:40

■ 基調講演 ■

「学習者と教師のオートノミーを考えるー制約との対話に向けてー」

中田 賀之 氏 (同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部 教授)

13:40 休憩

■ パネル ■

司会 八木 真奈美 氏 (駿河台大学 グローバル教育センター 教授)

13:55 I 経験についての語り

- ▶ 「音のある社会と音のない社会を生きるー自己の再解釈を通して知るバイカルチュラルな経験ー」
中井 好男 氏 (同志社大学 日本語・日本文化教育センター 助教)
- ▶ 「日本の社会で生きていくための武器ー日本語話者としての私と地域方言」
Katherine Thornton 氏 (追手門学院大学 基盤教育機構 准教授)
- ▶ 「自己変容の体験を経て、交換から贈与する先生へ」
姜 志鮮 氏 (龍谷大学 非常勤講師)

15:10 休憩 (コーヒーブレイク)

15:40 II ディスカッションの視点の提起

- ▶ 「社会的行為主体としてのことばの活動とは何か」
細川 英雄 氏 (早稲田大学 名誉教授)
- ▶ 「立ち入らず立ち去らず、信頼と暮らしをささえる地域社会の構築をめざして」
春原 憲一郎 氏 (公益財団法人京都日本語教育センター 京都日本語学校校長)

16:50 III ディスカッション

17:30 閉会挨拶

〈お申込み〉 資料準備の関係上、参加ご希望の方は3/11(月)までに同志社大学公式サイト「講演会・セミナー・イベント」ページよりお申し込みください。 <https://www.doshisha.ac.jp/event/2018/1227/event-detail-3304.html>

〈お問合せ〉 同志社大学 国際教養教育院事務局 ji-nbn@mail.doshisha.ac.jp



【主催】 同志社大学 日本語・日本文化教育センター

【共催】 科学研究費基盤研究(C)「日本で学ぶ日本語学習者の社会的アイデンティティとことばの獲得と学習者オートノミー」

